



題字：山崎 力さん

Vol.5 夢をいだいて アルプス福祉会だより 食べる。毎日



社会福祉法人
アルプス福祉会



「西部地区グループホーム(仮称)」開設準備中です！

アルプス福祉会はすでに松本市寿地区に3か所、神田地区に1か所グループホームを運営していますが、かねてより第2コムハウスがある松本市の西部(新村)地区に、「新たなくらしの場」を求めるねがいが寄せられていました。

この“ねがいを形にしよう”と、2019年3月より法人事業計画に位置づけてきたものがアルプス福祉会で5か所目となる「西部地区グループホーム(仮称)」の開設です。おかげさまで、アルプス福祉会が事業を開始してから38年半、第2コムハウスが開所して21年半が経ちます。この時間の経過をとおり、障がいのあるご本人・ご家族の高齢化がすすんでいることが、「くらしの場」のねがいの高まりの背景にあり、とりわけご家族からは「親なき後のわが子のくらし」の心配を語る切実な声が寄せられてきました。また、グループホーム自体は増えてきているものの、行動障がいのある方など「重い」障がいのある方が利用できるグループホームが不足しており、西部グループホームは「重い」障がいのある方も利用できるものにしたいと計画しています。今回、入居者募集にあたって定員を大きく上回るご希望をいただき、切実なおもいが寄せられた折に、この課題をあらためて実感しました。

現在、建築工事が行われており、来年3月に竣工予定です。わたしたちは、入居者一人ひとりの「わたしの新しいくらし」を、一緒に一歩ずつ形づくっていきます。そして、かねてからのねがいに応える西部グループホームの開設を、性別年齢、障がいの有無などを問わず誰もが安心してくらす「多様な方をつみ込む地域」につなげていきたいと考えています。

完成予想図



設計：(株)小川原設計
施工：新興トラスト(株)

西部地区グループホーム
(仮称)
2026年4月開所予定
定員14名
(男性7名・女性7名)



地鎮祭も無事終えることができました



西部地区に建設中の新グループホーム

グループホーム 職員募集中！

詳しい内容は
ホームページまたは
下記までお問い合わせ
ください。



アルプス福祉会の「推し活」、しませんか？



アルプス福祉会は「障がいのある人もない人も、お互いに尊重しあい、協力して生きていく」地域をつくり続けて39年目を迎えます。そんな地域づくりをすすめるために、皆様からのご寄付を募集しています。私たちといっしょに地域づくりをすすめていきませんか。

アルプス福祉会ではさまざまな寄付の方法をご用意しております。

マンスリーサポーター
(毎月の寄付)
毎月 **500円**
1,000円
5,000円

イヤーサポーター
(毎年の寄付)
毎年 **5,000円**
10,000円
50,000円

いつでもサポーター
(不定期または随時の寄付)
従来通りの寄付
(個人・法人・団体)も
お受けしております。

いただいた寄付金は主に以下の
事業に使用させていただきます。

- 新事業の開設や既存施設の修繕
- 送迎車両の購入・修繕
- 地域との交流や学びの場づくり

●寄付金額にあわせた税金の控除が受けられます。 ●くわしくは下記までお問い合わせください。

SNS発信中

※下のQRコードをスマートフォンのカメラで読み込むとアクセスできます。



Instagram インスタグラム
Facebook フェイスブック
各事業所の日々の活動の
様子を配信しています



note ノート
職員によるコラムなどを
配信しています

社会福祉法人 **アルプス福祉会**

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘 642-1

TEL (0263)85-4141

FAX(0263)31-3696

ホームページ <https://alpsfukushikai.jp>





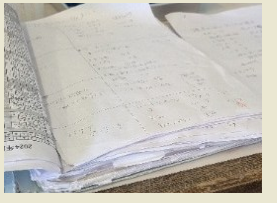
特集 食べる。毎日

生きるために欠かせない「食」には、一人ひとりの好みがあり、カタチがあります。
つくる人の思いがあり、「今日のご飯は何?」「〇〇だよ」というコミュニケーションが
あります。「食べる」ことは、カラダだけでなく、こころの栄養補給!
今回はみんな大好きな「食べる」風景、そしていつも食事を
つくっている職員さん取材しました。

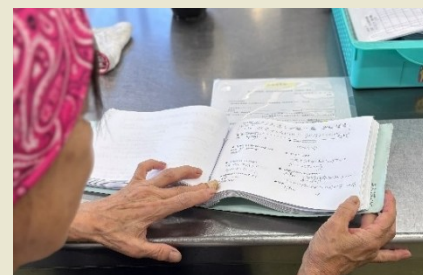
通所事業所の昼ごはん (コムハウス・ねくすと・第2コムハウス)

厨房では、食材宅配サービスの献立
の日だけでなく、職員が考えたオリ
ジナルの献立の日があります。
「食」べてくれるなかまも、つくっている
職員も楽しくなるようなメニューを
考えています。」と、第2コムハウス職
員の浅野さんは本や過去の給食記
録簿を参考にしながら献立を作成
していました。
コムハウス職員の山本さんと大武さん
は、朝早くから調理を始めていまし
た。アレルギーや好き嫌い、きざみ食
などにも対応しながら次々と食材
を仕上げては盛り付け、ねくすと用
の弁当箱に詰めて温かいうちに車に
のせて運びます。山本さんは「10時
までは本当に緊張と集中の時間です
よ。」と笑って答えてくれました。

「今日のお昼は〇〇だよっ!」
と、朝から献立表を確認するほど、
みんな楽しみにしている給食です
が、食事をするスタイルはひとそれ
ぞれ。場所やタイミング、食事の形
態など、なかまがおいしく、たのしく
食事ができるようにしています。
コムハウスでは、給食ができたあつた
後、職員がハサミで一口大に切った
り、細かく刻んだり、ミキサー・ブレ
ンダーを使ってペーストにしたりして
いました。
すまいる班職員の菊原さんは、その
人の食べる力に応じて日々調整して
います。また、食材の彩りも楽しん
でもらえるように盛り付けます。
経管食の注入前にはご本人に今日
のメニューを紹介し、みんなと同じ
食事をついていることを共有して楽
しく食事をついていただけるように
しています。」と、日頃の支援の工夫
を話してくれました。



給食づくりが終わって
やっとひと息ついたら、
給食の感想やなかまの食
事の様子などを記入した
検食簿に必ず目を通して
います。これが私のこの
仕事のやりがいなんだ
です。」と、笑顔で眺めてい
る山本さんです。



さらにおいしくなるっ!マイスタイル紹介

私には、私なりの食の流儀がある...
こだわりの食べ方をご紹介します。

片づけは完璧!



まずは仕分けて食器をきれいに片づけたら、気持ちもスッキリ。おいしさも格別。

マイ食器は安心



自分のスペースで、自分の食器で食べるのは、やっぱり落ち着きますね。

乳酸菌飲料の水割り



乳酸菌飲料を水で薄めると、これがまたさっぱりしてうまいっ!

パンにはコーヒー



給食がパンの日は、必ずバリスタが登場。みんなにもコーヒーをふるまいます。

なんでものつけ丼



おかずをすべてごはんの上につけると、おいしいっ!

グループホームのごはん



なかまが暮らすグループホームでは、
1週間分の朝・夕食の献立をつくり、
まとめて食材を買い物に行きます。
7、8人×7日分の食材はすごい量!
献立ごとに仕分けてから日付をつけ
て、冷蔵庫にしまします。職員の堀江
さんにお話を聞きました。「大変な
のは、食事をつくる職員が毎日ちが
うところかな。つくろうと思ったら食
材がなくなってる...なんてことがない
ように、食材の仕分けや情報の共有
を大事にしています。」
そして取材の日は、Nさんの誕生日。
事前にNさんに聞いて、希望に沿った
誕生日メニューで食卓は華やき、グル
ープホームで一緒に暮らすなかま達
とお祝していました。

